

一般質問



森田 議員

一、持続可能な農業施策の推進について  
二、九州電力2号機建設に伴う市長の対応について

質問

一、(1)未だ交渉中のT P P、いわゆる環太平洋経済連携協定において、関税が撤廃され外国からの農産物の輸入が急増した場合、それに伴い本市にどのような影響があり、どう強化策を講じようとしているのかお尋ねします。

(2)昨年度から国は、人・農地プランの策定を指示しており、今後、このプランが地域農業の指標となり各種事業採択の重要なポイントになるといわれています。市として策定が急がれるが、その状況と今後の方向性についてお尋ねします。

二、市議会としても九州電力松浦発電所2号機対策特別委員会を設置して、これまで建設再開に向けた活動を続けてきたが、今現在の九州電力株式会社との状況はどうか説明頂きたい。また、九州電力株式会社における電源調達の動きは、どのように進められるのか説明を頂きたい。

答弁

一、(1)現在の交渉参加国11か国との関税が撤廃された場合、県の試算を参考にするに米、肉用牛等の農産主要5品目の総生産額26億2千万円に對して総減少額は約15億円に、またアジ、サバ等の水産主要4品目の総生産額4億2百万円に對して総減少額は約1億3千万円となります。

今後の対策は、交渉中のため議論が十分にできていない状況です。

(2)人・農地プランは、各地域に中心となる農業経営体によつて農地を集積するかなどを地域の話し合いによつて決めていく計画です。本市は、25年度に町を単位とするプランを策定しており、229経営体を中心農業経営体に定め農地の集積を進めていくこととなっています。

二、九州電力株式会社は、本年3月に26年度供給計画の中に33年6月までに供給開始ができる火力発電100万キロワットを入札により調達すると発表され、自らもこの入札に応札する意向が示されています。入札は、国の制度にのつとつて進められ、落札候補者を選定後、国の審査を経て落札者が決定されます。

一般質問



山崎 議員

一、がんばらば国体の弁当について  
二、星鹿城山の整備について

質問

一、(1)昨年開催された全国和牛能力共進会では、見事長崎和牛が日本一になりました。和牛の産地松浦として、がんばらば国体の弁当に長崎和牛、松浦産和牛を使つて頂き、全国にP Rしてはどうか。

(2)他に松浦産和牛のP R、宣伝のアイデアがあればお聞かせ頂きたい。

二、(1)星鹿町のシンボルである城山は、城山をきれいにする会が年間を通して清掃活動など整備と管理をされている。市としてどのような支援をしているかお尋ねします。

(2)城山には町内外からたくさんの方が訪れます。車での上り下りも、道幅が狭く車を交わすのもやつとです。もっとたくさんの方が行き来できるように道を広くできないか。

(3)旧展望台が劣化して危ない。今後の対策を聞きたい。

(4)城山にあるアンテナや建造物の概要をお尋ねします。

その他に御厨・星鹿地区の公園、図書館とブックスタート、P M 2・5、畑地かんがい用水及び星鹿町への公営住宅建設について質問しました。

答弁

一、(1)弁当のメニューについては、市内の業者の方と打ち合わせを行っているところで、できるだけ松浦の食材をお願いしたいと考えます。松浦産和牛についても、今後、金額の面での調整も含め検討いたします。

(2)P Rできるよい機会でもありませんので、県の補助事業を活用して、弁当や宿泊施設への提供などを検討しているところです。

二、(1)市からの支援については、除草剤の支給のほか、22年度から24年度の間はまちづくり活動支援補助金による事業補助の支援を行っています。

(2)急な地形でもあり、国が定める道路構造例に基づく現道での改良は困難です。新たなルートの設置も、多額の費用が必要ことや県立自然公園内であるため大変難しい状況です。

(3)撤去に向けて検討いたします。

(4)建っている構造物は6基で、携帯電話の中継局、雨量等の観測所及びテレビの中継局など9事業者のアンテナ等が設置されています。